

「地域安全」について

◆ この資料は、「第2回会議《平成17年7月9日及び16日》～グループワークでの各班の意見」及び「第4回会議(8月20日)での各班発表及びレジュメ」をベースに地域安全の検討素材として事務局で作成しました。※重複する意見はまとめてあります。

◆ 文章末尾にある○付き数字は、意見等の出された班を示しています。(例:④⇒4班)

●現状と課題

行政

- 1 縦割り行政→防災無線活用システム ④
- 2 韓国では行政主導で、老朽家屋の建て替えを推進している。 ⑥
- 3 区の中でも、いろんな計画や条例や事業が行われているが、具体的な施策を横断的に、縦割りではなく進めていくことが、1番のポイントになる。それには実際にそのセクションの中間管理職クラスが果たして現場をよく認識しているのか、現場での問題点などを各セクションが完全に把握しているかということが問題。横断的にやっていかないといけない事で、行政もコスト削減という中で、現場主義を導入していかないといけない。 ④

地域・背景

- 4 高層マンションと地域の関係を考える必要がある。 ⑥
- 5 町の中には、生活をしていくために、会社に勤めなければならない人がいる。外に(区外)に出てしまい地域に対しての考えが薄いという問題がある。 ⑦
- 6 高齢社会、少子化、核家族化、急速に進行。声を掛け合い、支えあえる仕組みが必要。 ⑦
- 7 住・住、住・(職分離からくる無関心(職と住間のみならず住民相互間の関連の希薄化) ⑦
- 8 地域安全の担い手が老人、専業主婦と商店主になってしまっている。 ⑦
- 9 商店経営の構造変化(スーパー及びコンビニ化) ⑦
- 10 コミュニケーション 新住民と旧住民の関係作り 現在の町会組織はどの程度機能しているのか? ⑧
- 11 地域としての(住民同士の)コミュニケーションがとられているのかどうか。 ⑧
- 12 長く地域に住んでいる人とそうでない人の融合できる方法を考えたい。 ⑨
- 13 新住民と旧住民 ④
- 14 町会と町会不参加住民 ④
- 15 外国人登録者等と住民 ④
- 16 日中、家に居ないので隣近所のことあまりよくわからない。 ⑥

防犯

- 17 安全パトロールの仕組みがない(大久保の話だが)。 ①
- 18 地域パトロールが不十分(防犯対策) ③
- 19 地域の安全パトロールの仕組み、警察官の巡回が少ないような気がする ⑪
- 20 町の安全、自警組織 ②
- 21 わが町の防犯体制はどうなっているのか。 ②
- 22 昼間パトロールを行っているが、犯罪を防ぐにはよく見分けないとわからないのが現状。 ⑤
- 23 パトロール ボランティアはただでいいのか。行政責任も考えて。 ⑦
- 24 不在交番の問題 ⑤
- 25 「防犯」というより「安心して暮らせる仕組み」づくり ⑧
- 26 犯罪及び交通安全についてみると、現状は刑法犯認知件数、交通事故件数等から見て、必ずしも満足できるレベルではない。 ⑦
- 27 警視庁統計による犯罪多発地域の中にある用心の必要。 ⑧
- 28 新宿地域の犯罪は努力の結果、減少傾向にある(いや、そうでもない)、どちらだ? ⑥
- 29 「安心して暮らせる仕組み」から町の犯罪も減少。 ⑧
- 30 外国人全体が犯罪者ではないけれど、象徴的な記事が出てしまうと意識してしまう。 ⑪
- 31 国籍を問わず防犯についての協調性が少ないと思われる ⑪
- 32 オーバーステイ、万引き、無規制→不安定さ→安全な暮らしを作る←根本問題 ⑧
- 33 外国人多国籍化・凶悪化 ④
- 34 安全第一ではあるが居住者にとっても納得できる取締りを。(特にオーバーステイ) ⑧
- 35 防犯等についての関心が日本人のみ(考えているとは思いますが?周知が不足?) ⑦

- 36 具体的な対策が見えてこない ⑪
- 37 危険を感じる街 ④
- 38 脱法ドラッグ・ホームレス ④
- 39 新宿駅における薬物(シンナー、麻薬)の販売 ⑨
- 40 歌舞伎町問題 ④

防災

- 41 大災害時の備えに不安 ①
- 42 防災問題 ②
- 43 匿名性の強い都市における地域防災とは？(防災対策) ③
- 44 災害の時、どうするか。 ⑥
- 45 現状の防災訓練の回数、内容に不安がある。 ⑥
- 46 提案：“地域の安全”は、“防犯”に議論が傾きがちだが、“防災”も見のがすことができない。 ⑥
- 47 災害についても地震、風水害、大火等、さらに防疫上の問題なしとしない。 ⑦
- 48 災害時緊急時に対応できるネットワーク作り(日本人、外国人) ⑧
- 49 地震対策はどうなっている？ ⑨
- 50 過密、交通事情(自動車・高速道路)、防災意識、システム不徹底 ④
- 51 危険情報 知らされているが・・・。伝え方 ⑧
- 52 避難場所＝どうやって伝えますか？ ⑧
- 53 外国人への情報伝達の仕組み、ネットワーク ⑧

環境関連

- 54 道路・河川等公共スペースに汚れがある ①
- 55 カラスの被害は減らない。 ①
- 56 ごみ問題、不法投棄 ②
- 57 道路不正使用 ②
- 58 一人暮らしの老人が自分の癒しのために、ネコ、イヌ、ハトにエサをやり、人の迷惑を顧みない。 ⑦
- 59 ハトにエサ いやされる場がないからか。触れ合う姿。人の心すさんでいるからか。 ⑦
- 60 放置自転車、バイクなどの取り締まり。 ⑦
- 61 電柱に地下化を推進する。10年後には。 ⑦
- 62 バリアフリー対策の不徹底(社会資本の不足)(地下鉄等の階段、道路の段差) ⑦
- 63 違法駐車・放置自転車 ④
- 64 置き看板 ④
- 65 乱開発 ④
- 66 歩きタバコ・ポイ捨て、ごみの不法投棄、落書き・貼り札・チラシ、屋上広告、愛玩動物の糞、ホームレス ④

その他

- 67 情報交換ができない。 ⑤
- 68 個人情報保護法、肖像権などを知りたい。(法・ルール) ③
- 69 地域の“安全”または“不安”とは何かを、検証する場があっても良いのでないか。 ⑥
- 70 子供、一人暮らし 情報収集とプライバシー 監視カメラとプライバシー ⑧
- 71 若い人たちに関心を持ってもらうにはどうすればよいか。 ②
- 72 子供の心の荒廃が心配 ①
- 73 高齢社会は誰もが障害を持つようになる。目が見えにくい、聞こえにくい、手足が不自由。外出・移動が安心・安全にできる街づくり。ユニバーサルデザイン。 ⑦
- 74 歌舞伎町が人為的行政的につくられたものであることを改革したい。 ⑧
- 75 多文化ゆえに考えられる安全への懸念材料 ⑨
- 76 外国人医療(感染症)問題 ④
- 77 自動車社会 ④
- 78 教育・家庭 ④

●解決策

行政

- 79 地域安全は皆さん懸念としてもっているなので、まずは横の連携、つながりをつくっていく。 ⑪
- 80 町並み条例・建築基準 ④

- 81 生涯学習推進計画の策定 ④
- 82 総合行政へ、災害時の区と区民の役割分担、地震等災害発生時の行動指針、災害弱者(高齢化の進展等)、区施設の管理責任・安全確保、雨水貯留防火 ④
- 83 明るい商店街、見守り・仲間作り、情報交換・コミュニケーション、区民意識調査の正しい分析活用、外国人の生活等実態把握と職員の専門職化 ④
- 84 コスト削減・サービス向上・現場主義の導入と問題点の把握整理・事業評価制度の導入 ④
- 85 区は、安全で快適なまちを実現するため、具体的な諸施策を総合的・横断的に推進しなければならない。 ④
- 86 区は、生活環境改善について区民等の啓発に努めるとともに、区民等による生活環境の整備の自主的な活動に対し、積極的な支援を行わなければならない。 ④
- 87 区は、施策の計画及び実施に当たっては、**関係行政機関と協力**しなければならない。条例の策定に当たっては、行間を理解しなければならないような**曖昧語を排し、論旨が誰でも理解、分析できるような具体的・簡潔な文章**でなくてはならない。新宿区環境基本計画(15年度～24年度 新宿区環境審議会の答申)にある、PDCAの一環として生活環境分野については「空き缶等の散乱及び路上喫煙による被害の防止に関する条例」(‘05.8.1施行)等を発展的に改め、新たに「安全で快適な新宿区の生活環境の整備に関する条例(生活環境条例)」を策定する。 ④

地域

- 88 学生の中には地域参加ニーズが有るので、もっと地域がアプローチすべき。 ①
- 89 安全のためのコミュニティを持続させるシステムの提案 ④
- 90 どこに誰がいるかを地域と共同して確認する。 ⑤
- 91 住民のみならず職域民を含めお互いに声を掛け合い、支えあう環境、システム作りが必要 ⑦
- 92 安心安全な暮らし(コミュニティが地に足をつけた活動をして平和に暮らせる社会の構築) ⑨
- 93 人の目・輪が一番有効 ⑨
- 94 地域住民が気軽に挨拶出来る関係を構築し、異変があれば連絡しあう。 ⑪
- 95 地域の教育力 ④
- 96 見守り ④
- 97 地域内で互いに良い関係が保てるよう、コミュニケーションにも工夫が必要だ。 ⑥
- 98 地域安全の担い手は老人と主婦と商店主。 ⑦

防犯

- 99 脱法ドラッグの規制強化 ①
- 100 犯罪を防ぐコミュニティ作り ①
- 101 新宿区・・・犯罪の多い街のイメージを払拭する。 ④
- 102 町で犯罪防止に標語を書き町に貼っている。 ④
- 103 安全管理は自己防衛を心がけ、油断は禁物！ ⑤
- 104 安全パトロール(パトロールの安全確保と無報酬で良いのかという問題) ⑦
- 105 防犯については、防犯パトロールや薬物乱用防止など、若者の健全育成に、より協力していかなければいけない。助け合いは、みんな知らない顔をしないで、お互いに声をかけあっていくことが大事。平和で安全な新宿区を将来ともに保つためには、地域住民の協力、官民の協働が大事だ。 ⑨
- 106 防犯について(防犯パトロール、シンナー等、薬物乱用防止、盗難防止の助け合い) ⑨
- 107 世代、国籍を問わず定期的に巡回パトロールを行う。 ⑪
- 108 現状把握と防犯体制 ④
- 109 犯罪の街のイメージ払拭 ④
- 110 外国人登録者等 ④
- 111 街灯、標語の掲示、 ④
- 112 交番・自警組織、パトロール ④
- 113 仕組みづくり、声かけ＝安全な街、コミュニティ ⑧

防災

- 114 区民各人が率先してアクション ①
- 115 災害については、区の対策を徹底しないとイケない。特に大地震時の行動指針については、さらに一層徹底を図る必要がある。 ①

- 116 大地震時の行動指針再徹底
- 117 区民・行政・事業所の協力システム ①
- 118 災害弱者対策強化 ①
- 119 事業者の協力も欠かせないので、3者(区民・行政・事業者)が協力できる体制を徹底した方がいい。また、高齢者などの災害弱者対策を一層強め、将来的には大災害時の住民支援を公民一体で徹底して頂きたい。 ①
- 120 大災害時住民支援徹底 ①
- 121 災害に強い街づくり ④
- 122 防災については、地震にしても、安全の備えがあつてよかつたという班があつたが、地震対策を一人暮らしの高齢者、障害者、赤ちゃんのいる家庭に対して、救助・救援について具体的な行動計画を作成することが必要。 ⑨
- 123 地震対策・ひとり暮らしの高齢者、障害者、赤ちゃんなどのいる家庭の救助救援 ⑨
- 124 学校を災害時のエネルギー基地にし、そのための設備を設けてはどうか。 ⑪
- 125 災害時の避難路確保 ④

環境

- 126 broken window rule(ニューヨークで成功した対策)ですが、汚れや破損を直ちに直すという活動です。行政だけではなく住民も協力して、ごみを拾うことを日常的に行えば環境も良くなる。 ①
- 127 街並み条例をつくる(美化) ②
- 128 電線を地中にうめる(美化) ②
- 129 道路の整備、自転車の通路(道路の整備管理) ③
- 130 自転車置き場(マンション前、店先前、等)(放置自転車対策) fd ③
- 131 ガードレール内(自転車、バイク、等)(放置自転車対策) ③
- 132 街区内の不安全な物を規制する(過剰な屋外広告、狭い道路に入り組んでいる電柱の撤去、放置自転車・バイクの撤去) ⑦
- 133 身体機能の十分でない人の外出対策として階段に対するエスカレーター等の整備 ⑦
- 134 長期見通しによる道路整備(100年もすればコンクリートの建物も建て替える、それを見越して5mセットバックと高層化) ⑦
- 135 フリーライダーの排除 ⑦
- 136 道路の整備(車道・歩道) ④
- 137 安全快適に歩行できる歩道確保 ④
- 138 街灯整備 ⑦
- 139 街の美化 ④

その他

- 140 子供の荒廃＝目をかける他人がいないこと？ 誰かがイニシアティブを取らないと。 ①
- 141 子供が元気に育つ環境作り ④
- 142 小さい命、高齢者の命の大切さを認識させる施策・具体的には？ ⑦
- 143 個人情報保護と相互関心の調和 ⑦
- 144 自立する子供の育成 ④
- 145 雨水・処理水の利用 ④
- 146 緑の保全(開発現場の事前調査) ④
- 147 電線の地中化 ④
- 148 ごみゼロデーの拡大 ④
- 149 生活環境の美化・浄化 ④

意識・取り組み・区民サイド

- 150 目に見える目標を達成する。目標の期限、目標(「電柱を地下化する」とか)を決めて、実行すれば解決できる問題。 ⑦
- 151 一人ひとりが気づくことで社会を変えていくことができるということを認識するのが大切 ⑦
- 152 「地域安全」について、新宿の場合は「都市型の」を付けた方が、より実態をつかみやすい。今後も「都市型の」を意識したほうが考えていける。都市型の自然災害の対策と地域での防犯対策をキーワードとして考えている。 ⑧

- 153 地域安全、これは犯罪と災害と括りまして、いかに防いでいくかが地域安全の問題です。地域の特性によって起きる災害は違うが、まず身の安全が一番である。監視の目を厳しくして、監視の目が厳しいことを周りに伝えていく。自分たちでやる場合には、安全に避難するなど、こういうことを中心にして、やっていけたらと思う。 ⑧
- 154 総論として我々は「地域の安全」を何としても守りたい。そのために一番大事なのは「コミュニティ」ではないか。それから地域の安全、それを実現するには「多文化共生」も必要だろうと、そのためには「自治制度」も「協働・参画」も大事だということ。つまり、ヘッド(念頭におくのは)は「地域の安全」。 ②
- 155 これらを通じ、必要なのは地縁、職縁を通じるコミュニティーの構成である。しかし、地縁、血縁社会から利益社会へと変移し、群集の中の孤独という流れのなかで、血縁、地縁社会への回帰が可能だろうか？ ⑦
- 156 改善ポイントとして、ソフトの部分、既存の組織ではうまくいかない。例えば町会はうまく機能しているとは言えない。新しいマンションの住民や外国人の方々など、情報伝達が既存の組織だけでは難しく、商店街でも同じようなことが起こっている。ルールづくりということで、そういう話も大事かと、公共空間などについても意識改革をしようと考えている。 ⑩
- 157 ボランティア・NPO活動、区政についての自発的学習と参画・具体的/体系的提言、評価機能 ④
- 158 町会・地区協議会・高齢者クラブ・民生委員・PTA・青少年育成委員会・地域センター運営委員会・社会教育会館利用者・防災区民組織・地域防災協議会・NPO・事業者等の連携調整 ④
- 159 区民サイドは何が出来るという事ですが、いろいろな方が取組んでいるが、中には重複している問題もあり、総合的にやっていかないといけない。 ④

●現状法規等

- 160 新宿区民の安全・安心の推進に関する条例(区長室危機管理課'03.6月制定) ④
 新宿区環境基本計画(土木環境部環境保全課環境推進係)
 自転車駐車場附置義務・撤去(土木環境部道とみどりの課)
 空き缶等の散乱及び路上喫煙による被害の防止に関する条例(土木環境部環境保全課環境推進係'05.8.1施行)

●方向性

- 170 コミュニティを考えると、「コミュニティ=地域住民」ではなく、行政やNPO関係者等も含めた「コミュニティ=地域を構成する人々」と捉えると、問題の糸が見えるのではないか。したがって、各テーマはコミュニティのなかで反映されなければならない。地域の安全とは、このような良好なコミュニティが形成された結果として得られるもの、と考える。 ⑥

●地域安全の要件⇒将来像(あるべき姿)

- 171 人間的にのびのび生活できる街 ④
 172 子供が元気に育つ環境を持つ街 ④
 173 犯罪のない街 ④
 174 災害に強い街 ④
 175 美化を心がける街 ④
 176 安全持続のシステムを保有するコミュニティ ④
 177 住民の基本行動になる ①
 178 法による規制 ①
 179 地域協働の柱になる ①